

『複言語・多言語教育研究』
第5号

目次

理事長挨拶

刊行の辞 山崎 吉朗 1

特別寄稿

日本の学校教育における外国語教育の課題と展望 吉田 研作 3

論考

日本と韓国の学生をつなぐ授業を創る教師のアイデンティティ 澤邊 裕子 20
—隣国の言語を教える教師の授業事例と語りの分析から—
大学の初修外国語における複言語教育 大山 万容 37
—フランス語の授業におけるEOLE実践—

フランス語学習者の語用論的知識:「断り」行為をめぐって 原田 早苗 53

報告

チョコレート・プロジェクト 阿部 志乃 69
—チョコレートから世界の現実に目を向ける力を養成する外国語学習—
高等学校における第二外国語教育の現状と必要性 寺尾 美登里 79
—大学に進学しない生徒の第二外国語学習—
山口大学国際総合科学部「言語学習の理論と実践Ⅰ」の背景と構成 山本 冴里 88
—「価値として、また能力としての複言語主義」促進を念頭に—
台湾における外国語教育の現状について 山下 一夫 101
—第二外国語を中心に—
政策を動かす 山崎 吉朗・ 112
—文科省、東京都への要望— 水口 景子

JACTFL 第 5 回シンポジウム「外国語教育の未来(あす)を拓く」		
～つながり始めた多言語・複言語教育～		
シンポジウム実施要領	 118
分科会報告:小学校・中学校の部	田島 久士 123
分科会報告:高等学校・大学の部(テーマ1)	水口 景子 133
多言語教育推進のための制度やシステムづくり・活用		
分科会報告:高等学校・大学の部(テーマ2)	大森 洋子 138
多言語教育推進のための教員の取り組み		
総括コメント:つながり始めた多言語・複言語教育の芽を育てる	白山 利信 144